

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		13,312	t-CO <sub>2</sub>
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		13,312

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）			%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）					%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	28.85	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h	27.98	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h	29.27	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h	27.25	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 1.5	%	5.5	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h	t-CO <sub>2</sub> / M・㎡・h
削減率（対 基準年度）					%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

改装工事によるフロア閉鎖、昨年同様に店内照明の2フロア全体LED化、空調機器更新、温度の細かな設定、エスカレーター・エレベーターの更新、社用車運行状況管理によるエコドライブの徹底教育等を行い令和3年度目標から単年度で16.9%減となった

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理 管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>IS014001マネジメントシステムに基づくエネルギー削減目標・施策管理</li> <li>取組状況の確認、評価、見直し</li> </ul>	サステイナブル方針の制定及び方針へ温室効果ガス削減の取組設定	二酸化炭素発生量減少のため、エネルギー使用量（原油換算kl）を2025年度に2024年度に対し原単位で1%削減する目標設定。
一般管理 エネルギー使用量の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー分析システム活用による使用量の把握・分析</li> </ul>	省エネラベルマーク制度による目標管理 CO2排出量目標の設定	2025年度エネルギー使用量確定。本年度は対前年1%削減を目標に、分析システムを活用したこまめなエネルギーコントロールで、目標達成に向け活動。
省エネルギー・省資源の推進 冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> <li>店内照明LED化による店内温度上昇の抑制</li> <li>改装工事に伴う空調機等の更新</li> <li>クールビズ、ウォームビズの推奨</li> <li>夏季、冬季の店内冷暖房緩和の実施及び顧客へご理解と啓発の店内放送実施</li> </ul>	空調機更新の際には適切な容量かつ効率の良い機器の選定にて省エネ化を図る 新店舗導入の際にはLED化を推奨する	新店舗導入の際にはLED化を推奨する 2024年度空調機7台更新を実施
省エネルギー・省資源の推進 設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーター、エスカレーターを高効率モーターへ更新</li> </ul>	現時点でエレベーター5基とエスカレーター22基の更新の計画があり、更新の際には合理的な範囲での高効率化を図り、R1-4年での75kWと同等以上の消費電力の削減を目指す	2024年度南館本館客用・従業員エレベーター5台の制御更新を実施1台当たり40Kw→26Kwの削減 本館客用エスカレーター24台の更新を実施1台当たり7.5Kw→5.5Kwの削減
省エネルギー・省資源の推進 照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>改装工事に伴い、高輝度照明、LED照明、人感センサー内臓器具等への更新</li> <li>後方施設の事務所、倉庫、会議室、応接、トイレ、化粧室の不在時消灯、従業員食堂昼食時間帯以外のエリア消灯、エレベーターホール等の人感センサーによる不在時消灯</li> </ul>	既存照明をLED照明へ変更 使用電力量の削減で令和7年度までに5,000本以上導入し年間75万kWhの削減を目指す	本館3階4階のフロア改装工事に照明を全てLED化を実施 1本当たり50wの削減
省エネルギー・省資源の推進 OA機器・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCは離席時はスリープモード、退社時は電源OFF</li> <li>店内デモ機器等は、閉店後、可能な限りプラグも抜いて待機電力を削減</li> </ul>	推進委員が毎月1度実施状況をチェックし指導	事務所不在時の消灯徹底、終業退出時には店内デモ機器等コンセントプラグを抜く事など朝会を通じ、日常的に徹底を図っている
自動車利用における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の導入</li> <li>運転管理システムを活用した急加速、急停止の監視・抑制、車両ごとの燃費管理</li> <li>自動車利用者へエコドライブ教育の定期実施</li> <li>カーシェアリングの導入による車両数削減</li> </ul>	次世代自動車（ハイブリット車）及び軽自動車も視野に入れ引き続き導入を推奨する	2025年度次世代自動車（ハイブリット車）6台入替導入予定 今後も、継続的に導入を推進する

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--